



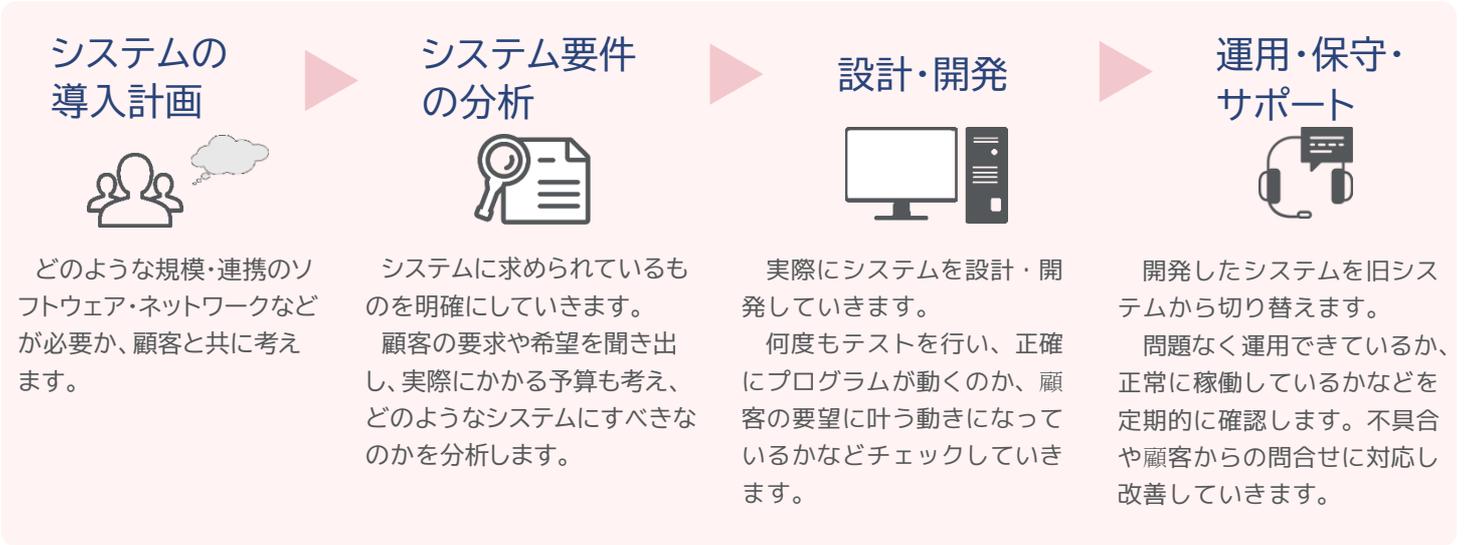
学校生活の中で 「課題対応能力」を伸ばそう



1. 働くためには「課題対応能力」が大切

① IT企業の業務《システム・アルファ(株)を例として》

まずは情報システム構築の流れを確認してみよう



各業務の課題に対応しながら情報システムが構築されます

② IT企業における課題対応の流れ《アプリのマニュアル作成を例として》



課題発見 情報収集 情報分析 本質の理解

論理的思考力を働かせながら、顧客の話をよく聞いていきます。顧客のイメージから課題の本質に迫っていくように情報を集めます。

原因追究 情報選択 計画立案 計画実行

ICTを活用し、顧客との打ち合わせ内容や業務に関わる知識などの情報を共有したり、互いの予定や意見を調整したりして課題解決までの見通しを立てていきます。

社内評価 顧客評価 本質の理解 次への改善

課題を解決する過程で新しい技術や方法が生み出されていることがあります。そこで、自分たちで問いを繰り返しながら、先を見据え、顧客にとってよりよい解決になるよう考えていきます。

「企業理念」と「課題に対応するための行動」は結び付いています

企業理念や社是に基づいた行動により、社員が一丸となって課題に対応することができます！

人と人とのつながりを大切にする

全ての顧客にプラスアルファのサービスを提供する

事業を通じて地域社会の活性化を図る

顧客や社員同士のコミュニケーション

課題解決の先にあるものを意識

地域の雇用・消費につなげる

2. 学校生活で「課題対応能力」を伸ばす

① 学校生活には課題が隠れている

学校生活の中で、今よりもっとよくできること(課題)がないか考えてみましょう

● 授業



授業を理解するには？

しっかり探究を進めるには？

計画的に学習できている？

● 学校行事



行事を盛り上げるには？

クラスで協力するには？

他学年と交流できている？

● 部活動



次の試合で勝つためには？

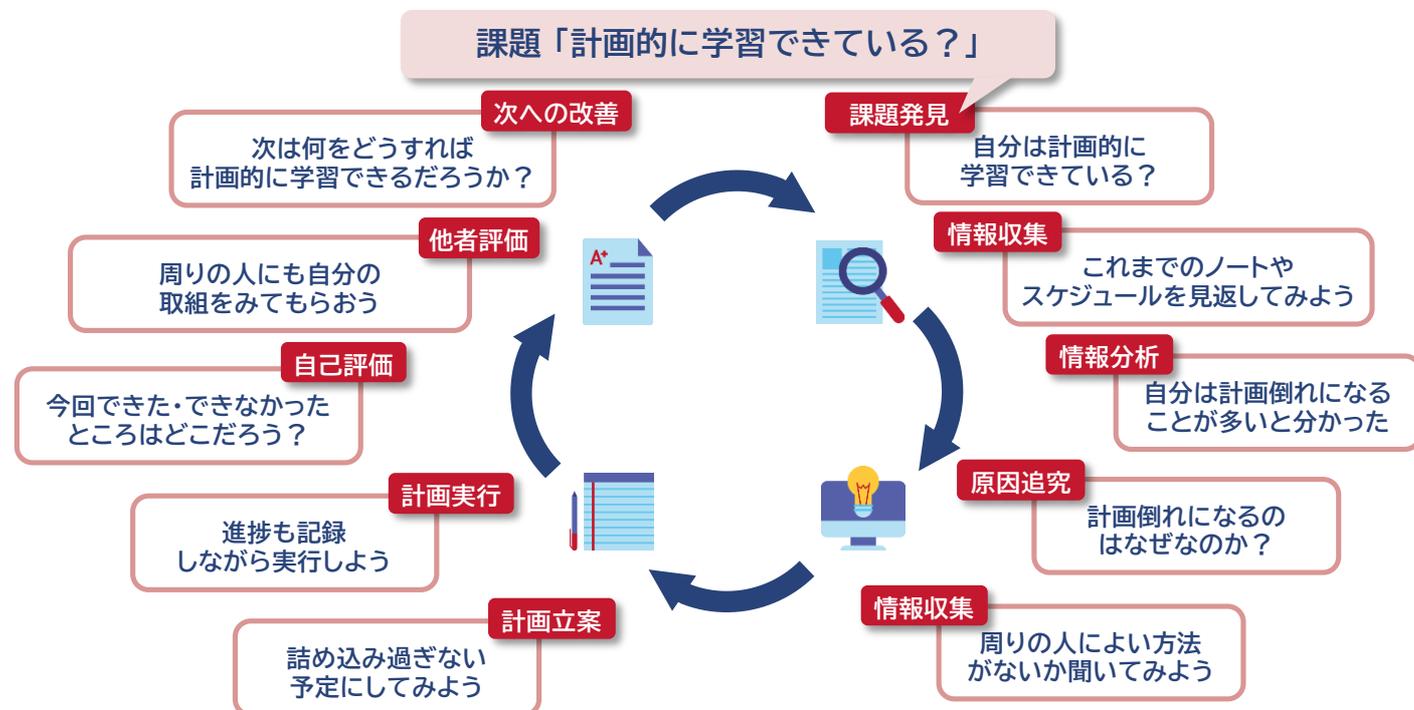
よい作品を作り上げるには？

部員一丸で取り組んでいる？

学校生活の各課題には、どのように対応すればよいでしょうか？

② 振り返りから課題を発見し、取り組む⇒「課題対応能力」が身に付く

学校生活で身に付けた課題対応能力は、企業の業務における課題への対応につながります



「校訓・学校目標」は学校生活の様々な取組と結び付いています

校訓や学校目標の示す人物像が、課題に対応する取組のヒントになっています！

例:〈目標〉必要なこと・すべきことには、不得意なことであっても進んで取り組むことができる生徒

今回の行事で必要なこと・すべきことは何だろう？

上手にできなくても友達より先に取り組んでみよう

「課題対応能力」は自分がすべきことを意欲的に取り組む上で必要な力です！

3. 社員の方にインタビュー

第2ソリューション部の方に伺いました

Q 今取り組まれている業務は何ですか？

A 主に工場向けのシステムを担当しています。プログラミングもしていますが、コミュニケーションをとることが得意な方なので、SE(システムエンジニア)としてお客様との打合せをすることが増えてきています。

Q 業務遂行のために気を付けていることは何ですか？

A 「無の時間」(=悩むだけで思考が止まってしまう時間)を作らないようにしています。課題解決に向けて試行錯誤し、筋道立てて考える時間が多くなるようにして、行き詰ったらすぐに誰かに相談したり休憩を取ったりするようにしています。

Q よりよい結果を目指して努力していることは何ですか？

A 初めて取り組むことについて「初めてだから」と諦めたくないの、上司やキャリアのある方から事前にお話を伺い、自分の取組に上乘せできるようにしています。

キャリア年数 2年目 女性

Q 今取り組まれている業務は何ですか？

A 入れ替え用のシステムに携わることが多いです。その中でも、SEとしてお客様のお話を伺ったり、システムの設計書を書いたりする業務が多いです。

Q 業務遂行のために気を付けていることは何ですか？

A 打ち合わせた内容は、経過であれ合意であれ、正確に記録するようにしています。また、設計書を書く際にも気を付けていますが、振り返りや引継ぎに困らないように人に伝わりやすい言葉遣いを心がけています。

Q よりよい結果を目指して努力していることは何ですか？

A プロジェクトの全体を見通しながら、何をどこまで言及しておくべきなのかを常に意識しています。また、自分の指示や話したことが、相手にどう受け取られるのかを考えて皆の認識がぶれずにすむようなコミュニケーションをしています。

キャリア年数 5年目 男性

Q 今取り組まれている業務は何ですか？

A プロジェクトリーダーとしてシステム開発全体の進行を見たり、メンバーへの業務割り振りや日ごとの進捗管理を行ったりしています。

Q 業務遂行のために気を付けていることは何ですか？

A メンバーとの信頼感を大切にしています。割り振った業務を通して、一人一人の個性を見極めたり、業務内容への理解度を測ったりしてプロジェクトが上手くいくようにしています。

Q よりよい結果を目指して努力していることは何ですか？

A メンバーである後輩を育てることを強く意識しています。どのようにキャリアを積んでいきたいか、彼ら一人ずつと一緒に考える姿勢をもって、その人ができる限り高いステップを踏んで貰えるように取り計らうのが自分の仕事だと考えています。

キャリア年数 11年目 男性

Q 今取り組まれている業務は何ですか？

A プロジェクトマネージャーとしてシステム開発の規定内容に沿って、品質・予算・スケジュールのコントロールをし、プロジェクトの目標を達成できるようにしています。

Q 業務遂行のために気を付けていることは何ですか？

A 開発全体の手順・工程が正しく行われているかどうかを、レビューなどの手法を使ってチェックしています。また、そのチェックやメンバーとの関わり方を通して、皆の育成をどのように推進していくかを常に考えています。

Q よりよい結果を目指して努力していることは何ですか？

A 業務に対しての振り返りを習慣化しています。組織全体がステップアップし発展し続けていくには、できたこと・できなかったことを分析・改善して、新たな課題設定やその課題を解決するまでのプロセスを考え、皆で共有することが大切だと考えています。

キャリア年数 20年目 男性

4. 研修先の紹介

システム・アルファ株式会社



代表取締役 廣山 悟

本社所在地 群馬県前橋市大友町2-23-5

創業 昭和56年9月3日

資本金 7,000万円

売上高 42億6,120万円(令和3年3月期)

社員数 189名(令和3年4月現在)

研修員 群馬県立安中総合学園高等学校 寺崎 絵美